

道

2025年(令和7年)3月5日

第3学年主任 亀井 翔一

いよいよ・・・

3月12日(水)の卒業式当日まで1週間となりました。特別日課になってからは講演会や校外行事だけではなく、卒業式の練習や式典で歌う合唱の練習に取り組んでいます。

今後の行事は学年レクがありますが、学年の仲間と過ごす時間は刻々とカウントダウンされています。

ここまで取り組んできた練習は順調に進み、これからは10日(月)の予行練習に向けて微調整や細かい確認を積み重ねていきます。いよいよ卒業式までのラストスパートです。そして、予行練習が終わると本番に向けての最終確認を経て、卒業式当日を迎えることとなります。

このクラス、この学年のメンバーで練習ができるのも残り僅かとなってきました。オリエンテーションの際や練習の場面でお話をしましたが、みんなで卒業式という式典を作り上げるためには、一人ひとりが気持ちを作らないといけません。その一人ひとりの力が集まることで素晴らしい式典が作り上げられます。当日の卒業式を多くの人たちが楽しみにしています。仲間たちにだけではなく、楽しみにしている人たちにもみなさんの気持ちが伝わるように取り組んでいきましょう。

特別日課 前半

2月17日(月)のオリエンテーションから始まった特別日課も前半の期間が終わりました。

19日(水)には「性教育講演会」があり、「藤沢女性のクリニックもんま」より門間美佳先生をお招きし、保健体育の授業で学んだ内容から性に関して更に深く、細かな事柄について学びました。



20日(木)は「生き方講演会」があり、元教員でラジオパーソナリティーや司会などで活躍しているDJ・HAGGY氏をお招きして「逆境を乗り越えて」と題したお話をさせていただきました。今ある幸せは、当たり前のことではないということを考えさせられた有意義な時間となりました。この講演会については、タウンニュース藤沢版の取材があり、2月28日(金)付けで記事が掲載されています。

21日(金)は、ゆめが丘ソラトス内の109シネマズゆめが丘にて「映画鑑賞会」がありました。事前のアンケート調査で、ほとんどの生徒のからリクエストがあった「はたらく細胞」を鑑賞しました。ちょうど受験前に公開された作品で、受験勉強に取り組んでいる最中だったことから生徒たちは楽しみにしていた様子で、当日は集合時間より30分以上も前に集合場所にいる生徒がいました。内容が理科や保健体育の授業で学習したものとも繋がり、とても良い学びの機会となりました。

109シネマズゆめが丘で担当していただいた方からは、「集合から移動、鑑賞態度や退館する様子など、どの場面を見ても素晴らしい生徒さんたちですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

25日(火)は、“卒業遠足”で富士急ハイランドへ行きました。当日の朝、秋葉台文化体育館前で集合したときはとても寒く、同じ時刻の現地の気温はマイナス6℃という情報でしたが、到着すると寒さは感じたものの、お日様も顔を出しており、生徒たちはとても楽しそうに園内を回っていました。

アトラクションの数もさることながら、園内にはいろいろな食べ物が提供されており、思い思いの昼食をおいしそうに食べていました。中には「先生！このたこ焼きおいしいですよ！」と紹介してくれた生徒もいました。直前に昼食を食べてしまっていたことから胃袋に余裕がなく、食べることができずに申し訳なかったのですが、本当に魅力的な食べ物が多かったと感じました。

帰りのバス集合の時間への意識も高く、私がバスに戻る予定よりも早くに戻っている生徒もおり、計画通り帰着することができました。

そして、昨日(4日)はボウリング大会がとうきゅうボウルで開催されました。気温が低い中での大会でしたが、会場はとても盛り上がり、最後の表彰では成績優秀者が表彰されていました。個人だけではなく、総合優勝をかけてクラスでも盛り上がった大会となりました。

【総合優勝：33組】 【男子1位：Kくん】 【男子2位：Sくん】 【男子3位：Yくん】



【女子1位：Uさん】 【女子2位：Yさん】 【女子3位：Kさん・Hさん】



※女子3位は同点のため
2名が表彰

進路が定まって

2月28日(金)は、公立の高等学校の合格発表の日でした。27日(木)に事前指導を行い、当日を迎えましたが、多くの人は9:00ちょうどのタイミングで合格発表を確認したと教えてくれました。気が早くなってしまい「8:59あたりでクリックしてまったらはじかれてしまい、その後もう一度必要事項を入力しなければならなくなったことが大変でした。」と教えてくれた人もいました。みんな、緊張した瞬間だったことと思います。

事前指導で私から話をしたことと重なりますが、受験(受検)というものは合格もあれば、不合格もあります。希望していた結果を得られた人もいれば、そうでない人もいるということです。

卒業までの残りの時間は、期待や不安も含めていろいろな思いを抱えた人とたちが一緒に過ごすことになります。くれぐれも、みんなで過ごす期間であるということを意識して生活を送ってほしいと思います。みなさん一人ひとりが受検に向けて頑張っていたことは、私だけではなく他の先生方もたくさん知っています。合格はとても喜ばしいことです。しかし、頑張ってきたことができた合格によってうかれてしまい、周りのことが見えなくなるようなことが起きてしまえば、その行動や言動で心を痛める人が出てしまうかもしれません。これまで、力を合わせて過ごしてきた仲間と最後にギクシャクしてしまうことは、みんなが望むところでは無いと思います。これまで通り、力を合わせて過ごしていきましょう。また、今後は進路に関する手続きを確実に進めてほしいと思います。自分の進路になりますので、保護者の方に任せきりになるのではなく、一緒に確認をしたり、手続きをしたりするようにしましょう。

【 合唱隊形 】

卒業式最後のプログラム「卒業生別れの歌」の合唱練習の風景を撮影したものです。お子様と一緒に合唱隊形の立ち位置を確認してください。正面から見たときに顔が見えるように調整を重ねて練習しておりますが、保護者用座席から角度がついてしまうと前の生徒と顔が重なってしまうことも考えられることをご承知おきください。

【 ソプラノパート → アルトパート 】



【 テノールパート 】

